

2023年3月期（第76期）

# 決算説明会

2023年5月9日

エステー株式会社

代表執行役社長 鈴木 貴子



# 76期決算概要のご報告

- **売上は、主力事業が計画未達も  
対前年で増収**
- **営業利益は減少  
原価高騰影響・在庫評価損計上による  
原価率上昇を製品値上でカバー出来ず**
- **当期純利益は増加  
前年は特別損失の影響あり**

## 増収 当期純利益は増益

	連結	売上比	計画比	前年比
売上高	<b>455</b> 億円	-	<b>95.9%</b>	<b>100.2%</b>
営業利益	<b>24</b> 億円	<b>5.3%</b>	<b>94.7%</b>	<b>74.3%</b>
経常利益	<b>27</b> 億円	<b>6.0%</b>	<b>95.8%</b>	<b>78.4%</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>18</b> 億円	<b>4.0%</b>	<b>96.2%</b>	<b>164.9%</b>
親会社株主に係る 包括利益	<b>19</b> 億円			

**配当40円** (前期38円)

# 2023.3期 業績ハイライト <連結>



	2023.3期		
	実績	売上比	前年比
売上高	455億円	-	100.2%
売上原価	286億円	62.8%	103.5%
売上総利益	169億円	37.2%	95.2%
販売管理費	145億円	31.9%	99.9%
営業利益	24億円	5.3%	74.3%

# 2023.3期 業績ハイライト <カテゴリー別売上高>



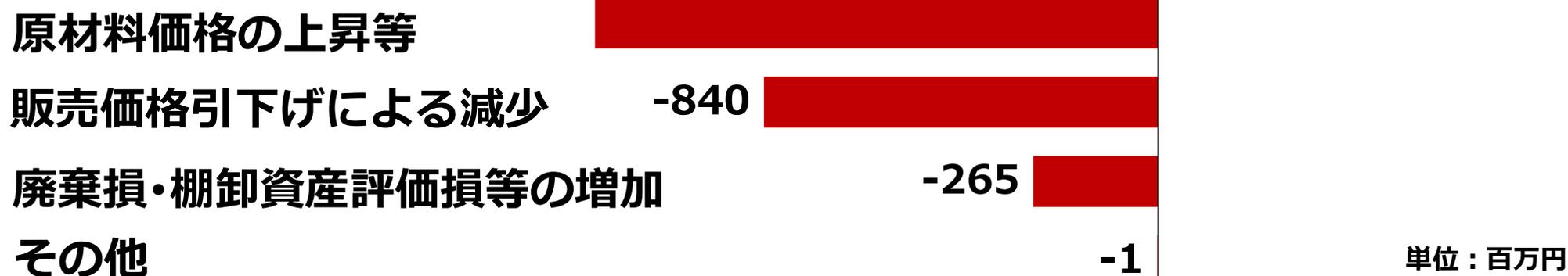
カテゴリー		売上高	構成比	前年比
エアケア	(消臭芳香剤)	197億円	43%	99%
衣類ケア	(防虫剤)	79億円	18%	97%
サーモケア	(カイロ)	47億円	10%	108%
ハンドケア	(手袋)	58億円	13%	100%
湿気ケア	(除湿剤)	29億円	7%	105%
ホームケア	(その他)	42億円	9%	102%
合 計		455億円	100%	100%

## 営業利益の増減 8.3億円減少

### 増加要因



### 減少要因



単位：百万円

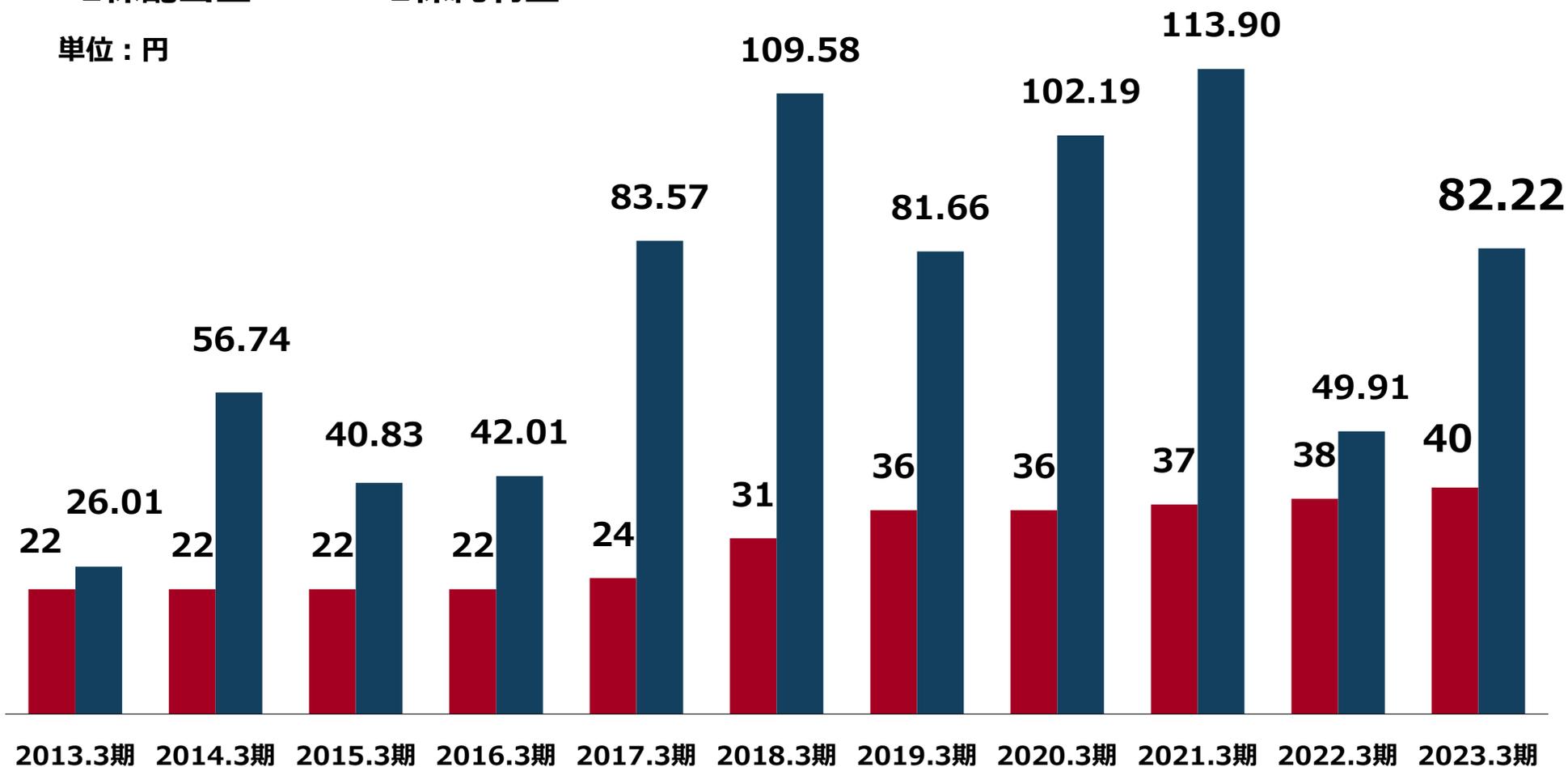
## 継続的な安定配当へ

\*配当性向 48.6%

■ 1株配当金

■ 1株純利益

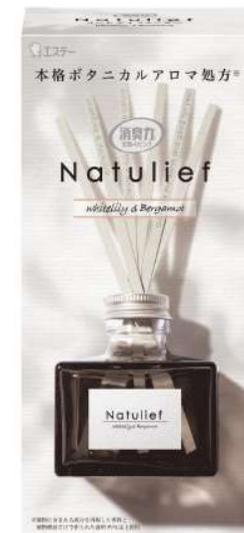
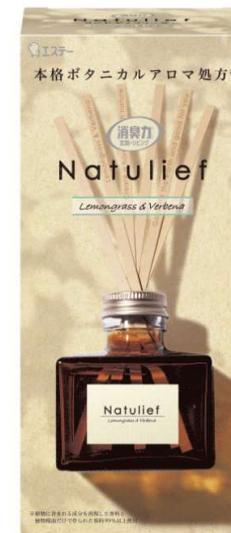
単位：円



既存品が苦戦も高付加価値品が健闘

高付加価値品が伸長

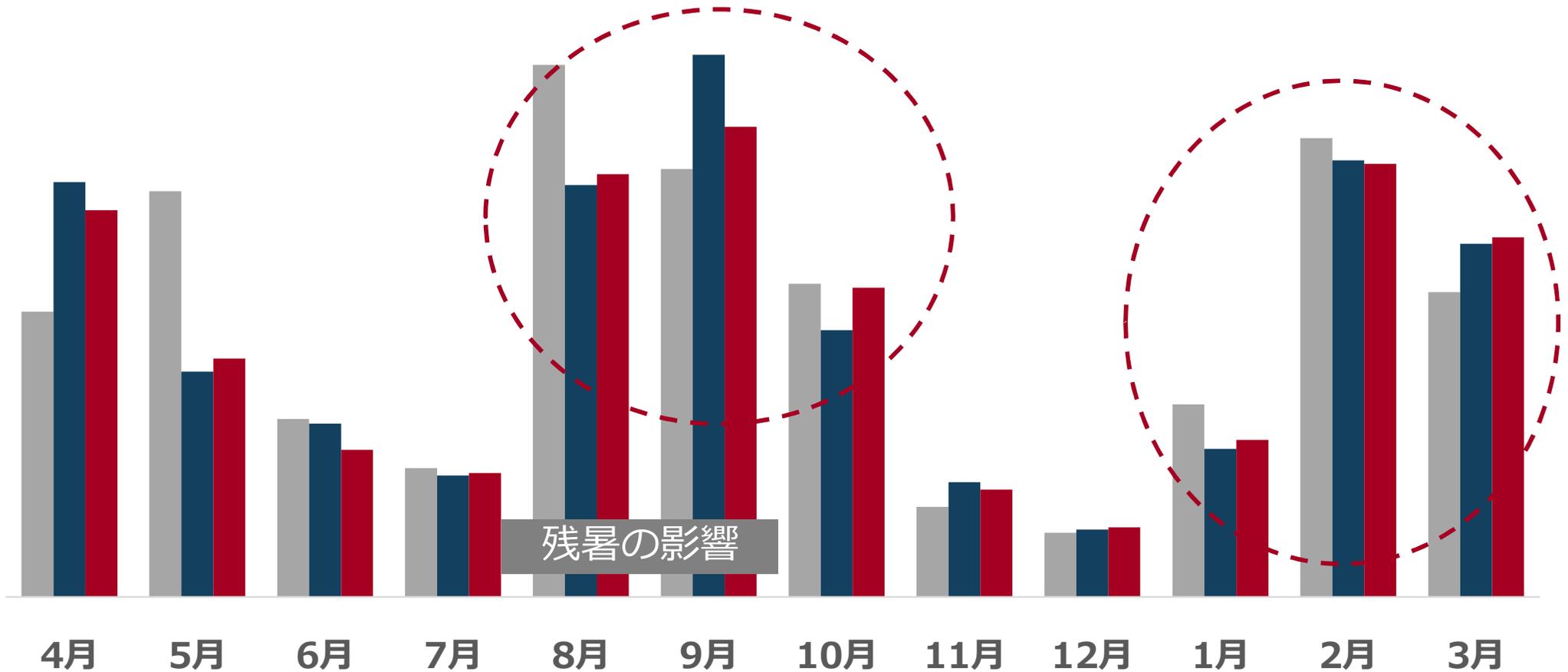
新製品が寄与



## 出荷時期ずれ込むも 概ね堅調

### エステー 防虫剤月別出荷金額

■ 2020年 ■ 2021年 ■ 2022年



残暑の影響

春の衣替えシーズン（2～6月）  
前年比99%

秋の衣替えシーズン（8～11月）  
前年比98%

春の衣替えシーズン（2～3月）  
前年比101%

衛生需要は落ち着き 業務用に注力

## コロナ関連商品が落ち着き 業務用手袋が寄与



# 家事楽需要は 引き続き好調

脱臭炭売上高

前年比 **102.0%**

米唐番売上高

前年比 **111.9%**

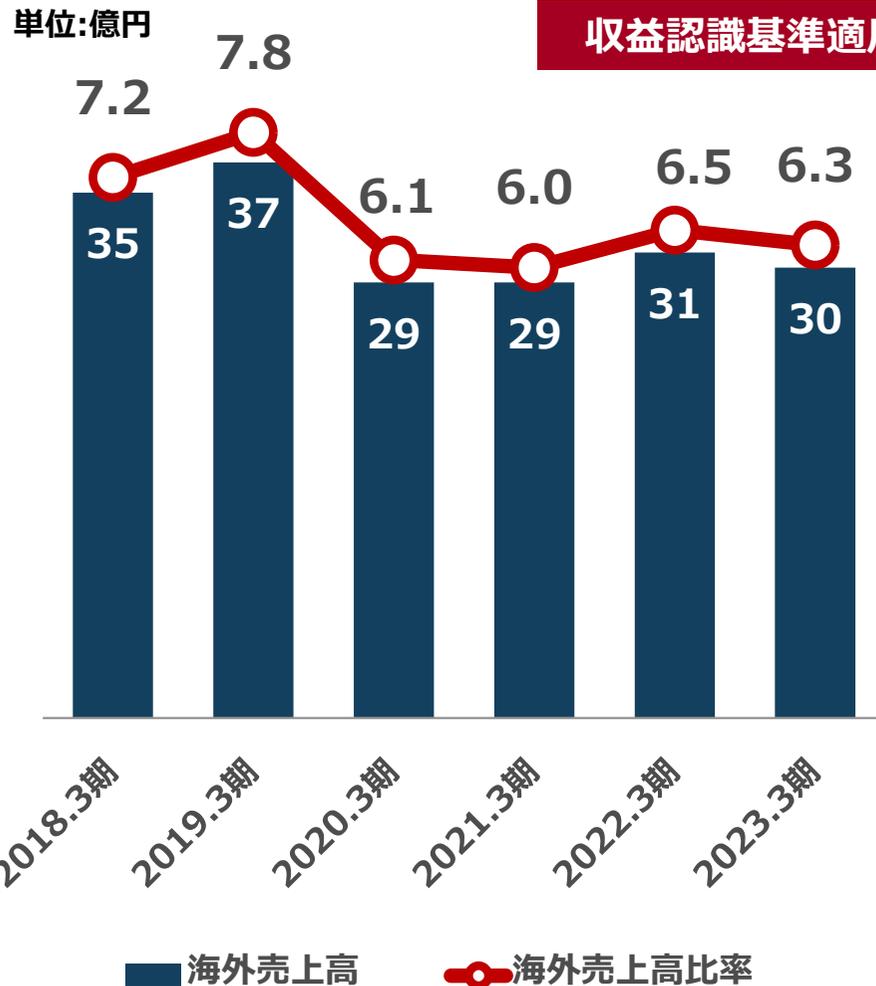
洗たく槽クリーナー売上高

前年比 **109.1%**

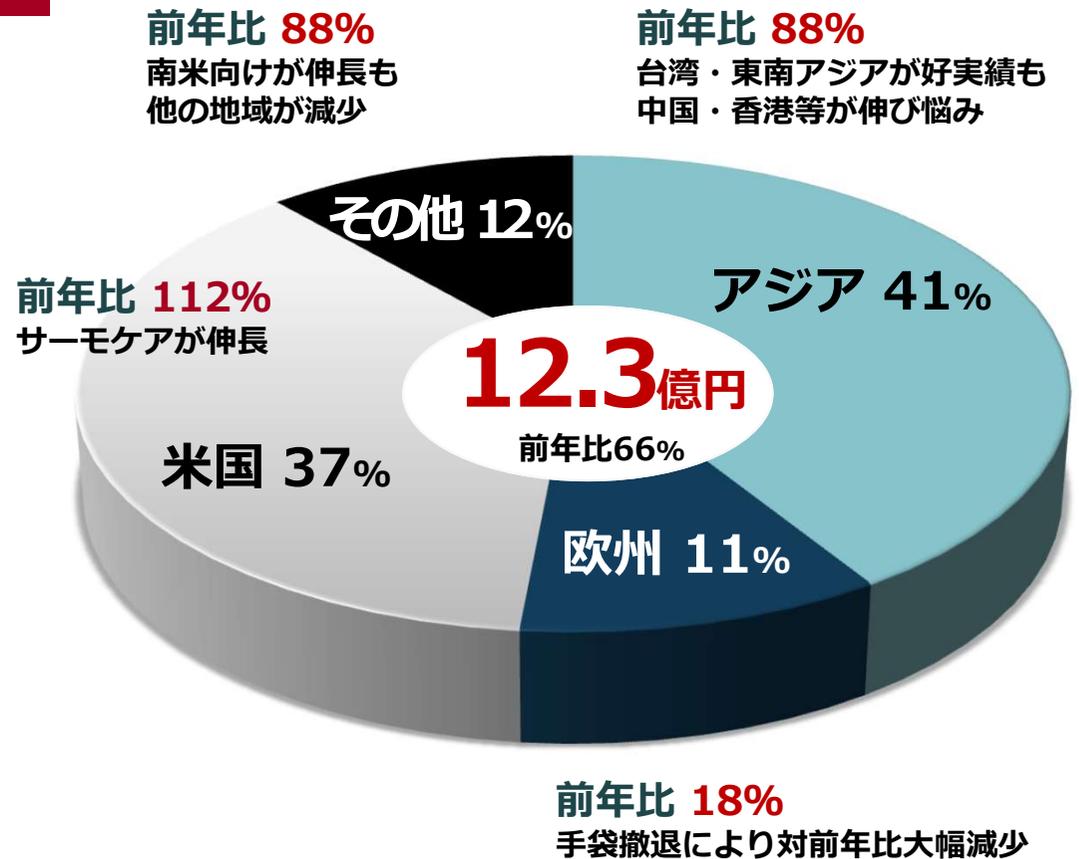


# 欧州手袋の戦略的撤退により縮小

## 海外売上高の推移(連結)



## 海外売上高の構成比(個別)



**売上原価率 想定以上に上昇**

## 売上原価率

**60.8%**

(2022.3期)



**62.8%**

(2023.3期)

**原材料高騰・為替変動・手袋の売価引下げ**

## コストアップ<sup>o</sup>吸収策

### 商品ミックスによる改善

### 1月から一部製品の値上げ開始

### コストダウンの取り組み



# 上月新社長 ご挨拶

**既存コア事業に集中し高収益化**

**原価高騰対策の取組み**

**成長領域への取組みは継続**

**ESG時代を生き抜くための基盤作り**

# エアケア 国内シェアNo1

テーマ性のある企画品で新規需要獲得

TV+デジタル+売場

統合コミュニケーション展開

EC等の伸長チャネル拡大



## 衣類ケア 新しい需要の取り込み

### 多様な購買行動への対応

### 新規ユーザーの取込み・育成



## 原材料高・為替変動への対応

商品値上げ

コストダウンの取組み

高単価・高付加価値品の拡売



## 中期的な成長に向けて

**B2B：エアケア注力、手袋収益改善**

**海外：中国・タイ、ECに集中**

**新規：新機軸のエアケア事業、  
クリアフォレスト新ブランド開発**

## ESG時代を生き抜くための 企業価値向上経営へ

**商品開発体制の強化**

**人的資本経営の推進**

**ガバナンス体制の強化**

**データドリブン経営**

## 成長投資実施も収益改善により +0.3億円

### 増加要因

売価引き上げ

1,747

原価コストダウン

764

販売数量変動による影響

127

数量販売構成の影響  
 売上面 -1,091  
 原価面 +1,218

### 減少要因

原材料コストアップ -1,073

売上控除（リベート等） -258

マーケティング費の増加 -193

その他 -1,078

（人件費、手数料、研究費、調査費等）

単位：百万円

## 増収増益

	連結	前年比
売上高	463億円	101.7%
営業利益	24億円	101.4%
経常利益	28億円	102.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	19億円	103.9%

**配当 42円 予定**

\*配当性向 49.2%



**エステー株式会社**      <https://www.st-c.co.jp/>

【見通しに関する注意事項】 当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。